

理学療法学専攻カリキュラムツリー(2025年～)

| 1年 | | 2年 | | 3年 | | 4年 | | ディプロマ・ポリシー |
|---|--|---|---|---------------|--|--|--|--|
| 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | |
| 現代社会、人間と文化 地域志向・キャリア形成 スポーツ文化科目 等 | 現代社会、人間と文化 地域志向・キャリア形成 スポーツ文化科目 等 | | | | | | | 1. 柔軟で豊かな人間性や高い教養を有し、医療に携わるものとしての高い倫理観をもって行動することができる |
| スポーツ実技Ⅰ-Ⅰ・Ⅰ-Ⅱ 初年次ゼミⅠ・Ⅱ 生命倫理学 | スポーツ理論1または2 | | | | | | | |
| 理学療法学概論 | | | | | | | | 2. 保健、医療、福祉チームの一員として多職種で連携して行動し、患者、障害のある人々、家族、異なる文化圏に属する人々の文化的背景や多様性を理解して良好な関係を構築することができる |
| コミュニケーション論 | 行動科学 | | | 医療コミュニケーション論 | 多職種連携論 | | エンドオブライフケアとQOL チームカンファレンス演習 | |
| 医系理科Ⅰ 医系理科Ⅱ 基礎医系生物学 | 人体機能学 人体機能学実習 生化学 人体構造学実習 疾病論Ⅰ 疾病論Ⅱ | 運動機能解剖学 運動機能生理学 運動学 病態生理学Ⅰ 栄養学 薬理学 脳神経医学Ⅰ | 運動学実習 人間発達学 臨床心理学 病態生理学Ⅱ 一般臨床医学 脳神経医学Ⅱ 症候論Ⅰ・Ⅱ 小児期障害学 | 救急医療 健康管理学 | リハビリテーション医学 | | 精神障害学Ⅱ | 3. 専門的知識や技術を修得し、科学的根拠に基づいたリハビリテーションを安全に実施することができる |
| 人体構造学 リハビリテーション概論 | 理学療法評価学Ⅰ | 整形外科学 精神障害学Ⅰ | 理学療法評価学Ⅱ 物理療法学 日常生活活動学 日常生活活動学実習 | 筋骨格系理学療法学実習 | 運動療法学実習 生活環境支援学 義肢装具学 神経系障害理学療法学Ⅰ 小児理学療法学実習 筋骨格系理学療法学 内部障害理学療法学 老年期理学療法学 臨床運動学 | 義肢装具学実習 神経系障害理学療法学Ⅱ 内部障害理学療法学実習 スポーツ障害理学療法学 呼吸・循環系理学療法学 小児重度障害理学療法学 | 理学療法管理論 理学療法教育論 | |
| | 基礎臨床実習Ⅰ | | 理学療法技術実習 | | | | 基礎臨床実習Ⅱ | 4. 主体的学修能力および情報通信技術(ICT)や数理・AI・データサイエンスの知識を身につけ、生涯を通じて課題を自ら探求し、その問題解決のために努力することでリハビリテーションの発展や質の向上に貢献することができる |
| 応用統計Ⅰ 応用統計Ⅱ 情報処理 | データサイエンス リテラシー概論 | 医療画像診断学 | | 理学療法学セミナー | 理学療法学研究法 | | 卒業研究 | |
| | | | | | | | 保健情報学 | 5. 患者や障害のある人々の回復や社会復帰、地域住民の健康維持や増進、英語運用能力を活用した国際社会での医療・保健活動などを通して、社会の発展のために貢献することができる |
| 大学英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 英語Certificate 入門外国語 | 大学英語Ⅴ・Ⅵ | 生活支援原論 社会福祉学 | 保健福祉行政論 公衆衛生学 | | | | 地域理学療法学実習 | |
| | | | | | | | Basic Life Support演習 地域理学療法学 理学療法国際協力論 | |

教養基礎教育科目
専門基礎科目
専門科目
実習科目
黒字は必修科目、青字は選択科目(選択必修を含む)を示す